

令和7年度 蕨市山岳連盟

安全登山講演会報告書



【開催日】 2026年3月14日(土) 10:30~12:30

【会場】 蕨市立中央公民館 1階 集会室

【対象者】 蕨市在住在勤者及び埼玉県南部山岳愛好者他

【主管】 蕨市山岳連盟

協働事業：蕨市山岳連盟・蕨市立中央公民館

【後援】 一般社団法人 埼玉県山岳・スポーツライミング協会 (略称：SAMSCA)

蕨市スポーツ協会

【協力】 遠峰山岳会 川口市登山同好会 彩・岳悠会 アルパインクラブ四季彩会

大宮アルパインクラブ 熊谷山岳会他

演 題 「最近の山岳遭難事故から学ぶ」—

講 師 元埼玉県警察山岳救助隊 飯田 雅彦 氏 (いいだ・まさひこ)

4月14日(土)蕨市立中央公民館の会場には、市内登山・ハイキングを趣味とする多くの方や市外からも多くの登山仲間・登山愛好者が参加していただきました。

また、川口市、戸田市、さいたま市など近隣山岳会からもご参加をいただきました。

参加者は一般参加と関係者含めて75名でした。

講師の飯田さんは元埼玉県警察山岳救助隊に勤務し、山岳遭難者の救助活動等に従事し、多くの命を救って参りました。定年退職後は秩父の雲取山荘スタッフとして働きながら、付近での遭難救助活動を支援するなどボランティアとして登山道整備や行方不明者の搜索活動を行っております。

また、埼玉県山岳・スポーツライミング協会とも密接に連携し、登山する方が安全に山に登れるよう啓発活動や講習会講師として活躍しております。。

【講演内容】

1. 山小屋番人としての登山者の皆さんへ – 雲取山荘小屋番としてのお願い –

- ・山小屋には午後3時から午後4時頃までに到着するよう山行計画を作成し、早め的小屋着を心がけて欲しい。
- ・パーティー登山では歩きが遅いものに配慮して、仲間と離れないよう行動し置いてきぼりにして先着するのはNGです。親だけが先に到着し、子どもや歩くのが遅い方をおいて先に到着するのはいけません。実際に置いて行かれ家族が道に迷ったことも。
- ・下山時の急な登山計画の変更は行わない。

- ・スマホアプリ登山者が多くなっているため、紙ベースの地図を持たない登山者がいるが、山全体を把握するためには紙地図は必ず持って入山していただきたい。

2. 埼玉県内の令和7年度山岳遭難事故について

- ・発生数：77件 86人 うち死亡4人 行方不明2人
 - ・遭難原因：転倒17件 転・滑落15件 発病11件 道迷い10件 道迷い～滑落10件 疲労4件 装備不足4件
- 最近の山岳遭難事故事例

11月4日 十文字峠から荒川源流へ登山した単独の男性登山者が行方不明

12月26日 三峰神社から雲取山へ日帰り登山した男性登山者が行方不明

3. 最近の山岳遭難事例

- ① 令和6年11月12日 奥多摩本仁田山 68歳単独の女性登山者が行方不明
- ② 令和7年1月13日 同 40代単独の男性登山者が行方不明
- ③ 令和7年3月22日 雲取山荘宿泊した40代単独の男性登山者が行方不明
- ④ 令和7年5月3日 棒の折山 20代単独の男性登山者行方不明
- ⑤ 令和7年5月5日 奥多摩本仁田山 50代の女性が有料トレールランニングに参加して行方不明
- ⑥ 令和8年1月4日 越生町 七福神巡り 80代の男性参加者が山の中に入り行方不明・発見時死亡（舗道を歩くゆるい七福神めぐりであったが誤って山の中に入り込み遭難）
- ⑦ 令和8年2月22日 小鹿野町四阿屋山 70代女性滑落死

この他、令和7年1月1日～12月31日までの埼玉県内山岳遭難事故77件の事故原因等について救助する側から見た、事故原因や問題点を講演いただきました。

武甲山で入山時間が遅く下山中に日没になった登山者が、登山用LEDライトを持参してなかったことから、行動不能に陥った。

➡ 登山必携であるライト持参することが必要。

武甲山で男性5人パーティが登山中、熊の気配を感じ恐怖から停滞。害獣忌避のための行動により日没。5人パーティ誰一人ライト持参せず行動不能により救助要請。

➡ 登山の基本であるライト持参することが必要。

9月両神山で男性3人パーティのうち1名が疲労困憊で遅延。日没で行動不能

➡ 9月頃からは日没が早い。出発行動時間を早めることが必要。

5月3日 棒ノ折山に登った20代単独登山者が行方不明。5月18日白谷沢で死亡していた。

➡ 沢に入り込み滑落死亡。自分の登山知識・技量にあった山登りをすることが必要。

1月13日日本仁田山登山した単独40代男性登山者 ハンモック持参してキャンプ登山。

➡ 5月18日死亡確認 これまでの登山経験や自分の技量を過信しないことも必要。

下山終了直前、駅の明かりが見える登山道で、登山道を直角・右折するところを見落とし、直進したことから岩場の道になっているにもかかわらず進み、岩場・崖を下ったことにより滑落。

➡ 滑落死亡。登山道が何かおかしい、岩場になって危ないと思ったら引き返して再確認することが必要。登山は最後の最後までルート確認する心構えが必要。

4. 熊対策について

去年は温暖化の影響もあり木の実など、熊の食糧となる餌が激減している。

山に登ると熊に遭遇することもあるので、その対策として熊撃退スプレーを持参する。

以前は価格が高価であったが、最近、ホームセンターなどでも比較的安価な熊撃退スプレーが販売されている。持参活用も安全対策のひとつ。

熊に遭遇してしまい襲われた時に、最悪、ストック2本を熊に向けるなどして防御することも必要。

5. スマホ用登山アプリを活用した安全対策について

【GPS活用登山・新たな安全登山対策】 - 登山アプリYAMAPの見守り機能を活用 -
YAMAPの見守り機能は、登山中の位置情報を家族や友人に自動で共有し、安全登山をサポートする無料機能。

この見守り機能は、登山中の自分の位置情報をYAMAPのサーバーに定期的に送信し、設定した家族や友人に共有する機能である。

これにより、万が一の遭難時にも救助活動に役立つ情報(遭難した登山者の登山ルート)を残すことができる。

【緊急時SOS】 - 「Compass EXPERT」を活用した位置情報取得システムの活用 -
埼玉県警察山岳救助隊への救助要請には、公益社団法人日本山岳ガイド協会が運営するCompassEXホームページを通じ位置情報等を取得したうえで110番通報することが出来る。スマートフォンの画面上には現在地の位置情報(座標)等が表示され、更に赤字の110番通報call policeをタップすると110番通報画面に移行する。

位置情報と一緒に申告事項も記載されているので落ち着いて救助要請が可能。万が一の場合のため活用する。



蕨市山岳連盟 須賀 敬史会長 ごあいさつ

左から SAMSCA 専務理事 天野氏 蕨市長 頼高氏 蕨市山岳連盟会長 須賀氏 蕨市立中央公民館 館長 成田氏



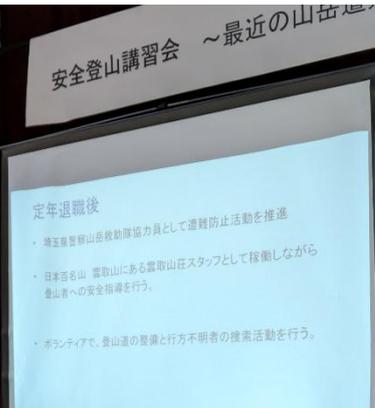
来賓として 蕨市長 頼高英雄氏 ごあいさつ



ご講演いただきました 元埼玉県警察山岳救助隊 飯田雅彦氏



講演会場の参加者

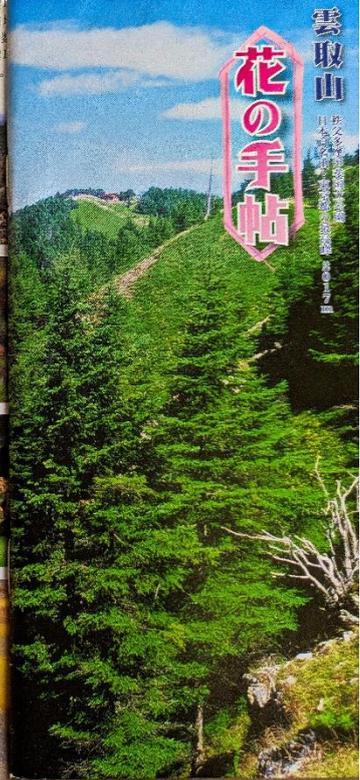


雲取山

秩父多摩国立公園は、昭和25年7月10日に指定されました。面積は121,600ヘクタールに及び、その中の48,718ヘクタールが特別地域になっています。

東京、埼玉、山梨、長野の1都3県にまたがる公園で、自然に恵まれた山や川が、東は御岳山から西は金輪山までの約70Km。北は四神山から大菩薩嶺までの約35Kmと広大であり、その公園内のほぼ中程に雲取山(2,017m)がそびえています。

雲取山は東京都の最高峰でもあり、埼玉県の奥秩父の山でもあります。山頂は東京都と埼玉県境の上に1等三角点が建っています。この三角点を南に30m下った所で山梨県に接しているので、雲取山は1都2県の山になります。



今回配布した
雲取山荘パンフレット
雲取山の「花手帳」➡

お問い合わせ
連絡先

〒368-0033
埼玉県秩父市野坂町2-13-34

新井 信太郎
新井 晃一

TEL. 0494-23-3338 FAX. 0494-23-0582
http://www.smsca.com/

講演会に合わせ、蕨市安全安心課のご協力いただき、2026年4月1日に道路交通法が改正されますので、改正内容の啓発を兼ねて開催いたしました。

啓発品は不織布マスク、LED ライト、災害用乾パン等を参加者の皆様に配布いたしました

